

事業計画概要及び選定理由

別紙3 別表

施設名	指定管理者候補者名	事業計画概要	選定理由（選定委員会議事要旨）
東京都船形学園	社会福祉法人 東京都社会福祉事業団	<p>○児童一人ひとりの意思や個性を大切に、児童が安全で安心した日常生活を送る中で、心身ともに健全な成長を遂げ、将来に向けた自立の意欲や生活力を育んでいくことができるよう施設運営を行う。</p> <p>○児童の自立支援計画に基づき、児童相談所と連携して児童自身や家族・家庭の状況など現状分析を行い、自立支援会議やケースカンファレンスの充実を図ることにより、専門性の高いサービスを提供していく。</p> <p>○被虐待児や発達障害児等の支援困難な児童を積極的に受け入れるとともに、それに対応する支援技術の向上に向けて、研修計画に基づく専門研修の受講や創意工夫を生かした人材育成などに取り組む。</p>	<p>○児童の一人ひとりの生育歴を踏まえ、学校や児童相談所等の関係機関と連携・協力しながら、各々の特性や発達レベルに応じた自立支援計画を策定し、きめ細やかな支援を実施しており、引き続き質の高い支援が期待できる。</p> <p>○精神疾患や発達障害など医療的ケアが必要な児童や、保護者との関係づくりが困難な児童を受け入れるとともに、個々の職員の支援スキルの向上と併せ、組織としての支援力向上に取り組むなど、公的な役割を果たしている。</p> <p>○地域住民と児童との交流を目的とした学園行事の開催や施設・物品の貸し出し、園研修会への参加の呼びかけ、地域行事への協力など地域の一員かつ福祉資源としての事業運営を行っていることは評価できる。</p> <p>○地域の少子化及び過疎化の進行に伴い、学園児童が生徒数に占める率も上昇しており、学園に求められる役割や期待も高まっている中で学校との連携を強化して対応していることは高く評価できる。</p>
東京都八街学園		<p>○児童一人ひとりの意思や個性を大切に、児童が安全で安心した日常生活を送る中で、心身ともに健全な成長を遂げ、将来に向けた自立の意欲や生活力を育んでいくことができるよう施設運営を行う。</p> <p>○児童の自立支援計画に基づき、児童相談所と連携して児童自身や家族・家庭の状況など現状分析を行い、自立支援会議やケースカンファレンスの充実を図ることにより、専門性の高いサービスを提供していく。</p> <p>○東京の福祉のセーフティネットとしての役割を引き続き担うため、虐待による様々な症状をもつ児童、情緒・行動上の問題を抱える高齢児童、他施設での支援が困難なため措置変更された児童等、特別な支援が必要な児童を積極的に受け入れていく。</p>	<p>○個々の児童の状況に応じた自立支援計画を策定し、各職員が連携・協力しながら支援を進めるとともに、児童相談所、学校等関係機関とも連絡・調整を強化しており、引き続き児童の個性や主体性を尊重した支援が期待できる。</p> <p>○被虐待児、愛着の問題を抱える児童、心理的支援が必要な児童、アレルギー疾患等により医学的支援が必要な児童など特別な支援を必要とする児童を積極的に受け入れるとともに適切な専門的支援を行っており、公的役割を果たしている。</p> <p>○地域の理解と協力を得るため、祭礼などの地域行事に職員が役員として積極的に協力するとともに、学園主催のお祭りを開催し、地域の方々を招待するなど地域社会に貢献するための取り組みを行っていることは評価できる。</p> <p>○都内児童相談所や児童の進学先見学などへの送迎、付き添いなど時間的に負担が大きい中、限られた職員数で適切な対応を行っていることは高く評価できる。</p>
東京都勝山学園		<p>○児童一人ひとりの意思や個性を大切に、児童が安全で安心した日常生活を送る中で、心身ともに健全な成長を遂げ、将来に向けた自立の意欲や生活力を育んでいくことができるよう施設運営を行う。</p> <p>○児童の自立支援計画に基づき、児童相談所と連携して児童自身や家族・家庭の状況など現状分析を行い、自立支援会議やケースカンファレンスの充実を図ることにより、専門性の高いサービスを提供していく。</p> <p>○東京都の施策や社会的養護需要を踏まえ、これまでの学園運営において培った知識・経験を最大限に活用し、一人ひとりの児童の特性に応じた丁寧な支援を実施し、積極的に都立施設としての役割を果たしていく。</p>	<p>○小中高校生の学齢別活動の中で園長・各グループリーダーが意見・要望を受け止める懇談会の開催や、園独自の利用者満足度調査により児童の意向を把握・対応するなどの取り組みを行っており、引き続き児童を中心とした質の高い支援が期待できる。</p> <p>○特別な支援が必要な児童を積極的に受入れるとともに、長年にわたり築いてきた学校や地域との良好な関係性を最大限活用し、心理、医療の専門家等とも連携しながら情緒の安定や自立に向けた支援を実施しており、公的役割を果たしている。</p> <p>○地域との防災協定や各種行事への相互参加など、地域及び関係機関との連携が緊密で、特に学校との深い連携が子供の支援に寄与していることは評価できる。</p> <p>○医療・心理ケアが必要な児童が増加する中、都内児童相談所への通所や病院への定期通院など限られた職員数で工夫して対応し、都内施設と変わらぬ支援を行っていることについては高く評価できる。</p>
東京都片瀬学園		<p>○児童一人ひとりの意思や個性を大切に、児童が安全で安心した日常生活を送る中で、心身ともに健全な成長を遂げ、将来に向けた自立の意欲や生活力を育んでいくことができるよう施設運営を行う。</p> <p>○児童の自立支援計画に基づき、児童相談所と連携して児童自身や家族・家庭の状況など現状分析を行い、自立支援会議やケースカンファレンスの充実を図ることにより、専門性の高いサービスを提供していく。</p> <p>○児童が地域の一員として安定した生活を送ることができるよう、地域との良好な関係の維持・向上を図るなど、地域との連携強化に取り組む。</p>	<p>○児童の情緒の安定を図るとともに、自主性・自立性を育むため、家庭的な寮運営や寮調理を実施しており、より一層の家庭的養護の推進や自立支援の充実が期待できる。</p> <p>○都立施設として被虐待児童や課題の大きい児童を積極的に受け入れ、研修等により専門性を高めながら個々の児童の特性に応じた適切な支援を行っており、公的役割を果たしている。</p> <p>○地域住民の学園行事への招待や地域子育て講演会等の共同開催など、地域に開かれた施設づくりを進めているとともに、各種地元行事への参加や子ども会活動、海岸の清掃ボランティアなど、児童の自主性に基づく地域への参加を積極的に進めていることは評価できる。</p> <p>○退所後も周辺地域で生活することを希望する児童が多くなっており、施設や周辺地域での思い入れが深まるような環境が提供できていることについては高く評価できる。</p>